

心理学科

キャリアデザイン・ポリシー

心理学の知識と技能を身につけ、
人と社会を取り巻く現実の諸問題に心理学を活かしてアプローチできる、次のような人材を育成する。

1. 発達過程における心理的变化や多様な個人の心理的特徴への理解を踏まえて、さまざまな立場や年齢の人と円滑なコミュニケーションがとれる。
2. 人の認識と行動についての知識と心理学的実験や調査のスキルを用いて、製品やシステムのデザインに有効な情報を提供できる。
3. 社会調査のスキルを用いて、消費者ニーズを統計的に把握し、新商品の企画や合理的な販売戦略についての情報を提供できる。
4. 対人上・組織上の課題に対して、心理テストや心理トレーニングなどの技法を用いた有効な解決法を提案・実行し、社員教育などに貢献できる。
5. 心理支援の必要な人や組織に対して、心理的アセスメントや支援法の知識と技能を活かした援助を行うことができる。

学科専門分野と卒業後のキャリアの関連図

心理学はさまざまな分野からなり、卒業生の職業も多方面にわたる。本学の心理学科には、臨床心理学・社会心理学・発達心理学・認知心理学の4つの分野の授業があり、各自の就業イメージに合わせて、関連する分野の授業を組み合わせることで履修することが推奨される。その具体例として、「心理支援基礎」プログラム、「生涯発達支援とコミュニティ」プログラム、「消費行動と心理調査」プログラム、「ワークライフ・マネジメント」プログラムという4つのキャリア準備プログラムを用意している。



赤字:心理学科で取得可能な資格 青字:心理学科での学びと関連する職業

心理学科

キャリア準備プログラム

以下の4プログラムを設け、低学年時からキャリア目標を意識し、自身に合ったキャリアプランの形成とキャリアの実現に向けて努力する態度を醸成する。所定の科目を修得することにより、各プログラムが目標とするキャリアへの準備ができたことを証明する修了証を授与する。

プログラム名称				
	心理支援基礎	生涯発達支援とコミュニティ	消費行動と心理調査	ワークライフ・マネジメント
関連領域	臨床	発達・臨床	社会・認知	発達・社会
コンセプト	現代社会に生きる人間の適応と成長を心理学的に支援するための専門的能力を養う	多様な個性をもつ人々が共生するコミュニティの創出を、生涯発達の視点から捉え、心理学的なアプローチで貢献できる能力を養う	社会・経済活動における個人や集団の認知・行動を心理学的に理解し、消費者や企業の意思決定において心理調査に基づく効果的なコミュニケーションができる能力を養う	個人や他者のキャリア発達、組織の発展に向け、人間関係、人材マネジメントなどに関する深い理解を有し、働く人々と組織の相互発展に貢献できる能力を養う
キーワード	心理支援、カウンセリング 心理アセスメント メンタルヘルス	生涯発達、コミュニティ 共生社会、多文化共生 子育て支援、防犯・防災	消費行動、意思決定 心理調査とデータ分析 広告とマーケティング	キャリア発達、人材マネジメント ワークライフバランス
履修者が目指す資格例 ^{*1}	公認心理師 ^{*2} 臨床心理士 ^{*2} 産業カウンセラー	社会福祉主事、 児童指導員、児童福祉司 (以上、任用資格) 准学校心理士	社会調査士 心理調査士	産業カウンセラー メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ・Ⅲ種
育てる人材像	臨床心理学領域での専門的知識と心理支援のためのスキルを身につけ、医療・福祉・教育等の諸分野での心理支援の実践を理解して、将来その一端を担うことができる人材	生涯発達支援に幅広く深い関心を持ち、多様な個性をもつ人々が共生できるコミュニティの創出に心理学的アプローチで参画できる素養を持った人材	人間の行動や認知に関する理論的知識と、調査や実験を実施して結果を解析するスキルを身につけ、消費者の要望を理解し、商品やサービスを企画・提案し、消費者への効果的なコミュニケーションに応用する能力を持った人材	キャリア発達や人材マネジメントに関する専門的知見を活かし、人間関係や組織の課題に対応しながら、働く人々と組織の成長に貢献できる人材
将来のキャリア目標	心理支援専門職 対人支援職 心理専門職公務員	子育て支援・療育 心理・福祉系公務員 教育・学習支援サービス 行政	市場調査 広告・宣伝・広報 商品サービスの企画開発 営業・販売サービス	人事・研修 対人支援職 人材コンサルタント

*1 プログラム科目の履修のみでは、資格取得はできません。

*2 大学院進学を経て受験資格が得られます。